

令和5年度

所沢市みどりの基本計画に基づく取り組み紹介

緑地の保全

保全指定と公有地化の2本立て

緑地保全制度の指定

○狭山丘陵、平地林の保全

新規 約 0.47 ヘクタール

累計 約 103.85 ヘクタール

○みどりのエコスポットの整備

新規 2 箇所

累計 4 箇所

公有地化

○市によるみどりの購入、寄附受入れ

新規 約 3.08 ヘクタール

累計 約 46.71 ヘクタール



🌱 新たに保全・整備した緑地の一部をご紹介 🌱



三ヶ島二丁目里山保全地域（指定拡大）

狭山丘陵に位置し、谷あいの湧水や湿地の水辺地を雑木林が取り囲む谷戸地形となっており、砂川堀の源流部の一部となる貴重な樹林地となっています。

拡大後面積 約 10.3 ヘクタール



東狭山ヶ丘一丁目みどりのエコスポット

狭山ヶ丘駅近くの住宅街の一角に市内4箇所目となるみどりのエコスポットを整備しました。

間伐材で作られたベンチが置かれ、所沢ならではの植物が育ち、地域住民と生きもののふれあいの場となっています。

整備面積 約 220 平方メートル

みどりのパートナー活動

ボランティア活動の補助制度

- みどりのパートナー登録者数 **累計** 1,659 人
- みどりのパートナー登録団体数 **新規** 4 団体 **累計** 63 団体



花壇の手入れ



菩提樹池でのかいぼり作業

みどりの講座やイベントの実施

自然と触れ合う機会の創出

- 講座やイベントの参加者数 **目標** 2,100 人 **実績** 5,200 人



みどりのふれあいウォーク



環境展示会



小学校での出前講座

世界農業遺産に認定

R5 年度のトピック

武蔵野の落ち葉堆肥農法

所沢市を含む埼玉県武蔵野地域は、火山灰土に厚く覆われ痩せた土地に、江戸時代から木々を植えて平地林を育て、落ち葉を集めて堆肥として畑に入れ、土壌改良を行うことで安定的な生産を実現してきました。

この歴史的価値を有する平地林などの土地利用は現在まで受け継がれ、今も落ち葉堆肥を活用した持続的な農業が続けられています。



みどりの基本計画の実績報告書の全体版はこちらの URL のリンク先からご覧いただけます。

https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/kurashi/seikatukankyo/midori/midori_keikaku/sesakunojisshijyoukyou.html